

## 日本原電前抗議行動プログラム

～絶対に老朽原発を再稼働させてはいけない～

17:00 開始 開会のあいさつ：横田朔子(司会、首都圏連絡会)

17:02 シュプレヒ・コール：中村泰子(首都圏連絡会)

17:03 主催者スピーチ：柳田真(首都圏連絡会)

17:08 脱原発スピーチ：鈴木知子さん(「さよなら原発」あびこ)

17:23 突撃インタビュー(2名くらい)

参加者のみなさんにマイクを傾けます。東海第二の再稼働  
阻止への思いや日本原電への怒りをマイクで訴えて下さい！

17:28 申入書受け渡し：志田文広(首都圏連絡会)

17:33 申入書受け渡し：武笠紀子さん(反原発自治体議員・市民連盟)  
～¥100カンパコール～

17:39 日本原電前アクション音楽開始

～♪日本原電前音楽アクションメドレー2022.7.6～

日本原電6人衆(ジョニー・H、生田まんじ、坂本達夫、マールハート・バンド、  
右田春夫)による日本原電抗議ソング4曲のメドレー演奏

17:49 行動提起：久保清隆(首都圏連絡会)

17:51 シュプレヒ・コール：中村泰子(首都圏連絡会)

17:53 閉会のことば：横田朔子(司会、首都圏連絡会)

17:54 終了(予定)

みんな、この後は東電前に  
行って抗議するのだ！

～このあと18:45からは東京電力本店前にて抗議行動です！～

## とめよう!東海第二原発首都圏連絡会の行動予定

8月3日(水)17:00～第49回原電前抗議行動(その後、東電前抗議行動)

8月27日(土) 東海第二原発を止めるための水戸決起集会(駿優会館)への参加

9月7日(水) 17:00～第50回原電前抗議行動(その後、東電前抗議行動)

9月9日(金)～11日(日) 一斉行動・第5波

10月5日(水) 第51回原電前抗議行動(その後、東電前抗議行動)

## 東海第二発電所対話型状況説明会について

日本原電は先月25日に新聞折り込みで、「東海第二発電所対話型状況説明会」という東海第二原発  
周辺の住民に向けてその安全対策における説明会の告知物の配布をしました。しかしこの説明会には定員  
上限があり、その上限数があまにも少ないのです。この説明会場は東海第二発電所管内にある東海  
原子力館を含め10か所ありますが、その東海原子力館を除く9か所の説明会場は60名～500名が定員の  
上限となっています。それに対し、原電が募集している人数は20名か30名だけなのです。会場の定員上  
限の約1/16～1/10の住民にしか説明しないものなのです。しかもこの説明会は事前申し込みが必要で、抽選で20～30名の定員を原電で選び、選ばれた人には  
3日前頃に説明会の参加証が届けられる、というものなのです。こんなにも少ない住民にしか説明せず  
抽選でその住人を選ぶ、こんな説明会では原電の形だけの実績づくりとしか言いようがありません。

## 日本原電前音楽アクション2022.7.6メドレー歌詞

♪ノーニュークス ノーリスタート byジョニーH

ノーニュークス ノーリスタート ノーニュークス ノーリスタート  
壊れた原発11年たっても 廃炉の目途さえつかない  
安心安全だとうそぶいて 過去の私たちをだましてただね  
ノーニュークス ノーリスタート ノーニュークス ノーリスタート  
避難困難続く最中 五輪の聖火リレー  
11年たっても相変わらず 今の私たちをだますんだね  
ノーニュークス ノーリスタート ノーニュークス ノーリスタート  
街宣車の上から声高に 再稼働を叫ぶ参議院選挙候補者たち  
原発事故を忘れた振りして 未来の私たちをだますんだね  
ノーニュークス ノーリスタート ノーニュークス ノーリスタートみんなで  
歌うのだ！

♪海岸の舟歌 by右田春夫

生命の元は踏み付けにして「豊かな未来」の来るもんや  
声ば出されんアノコウ達が どんだけ辛かか 悔しかや  
死にゆく海ば目の前にして 恥ずかしゅうなかとか?わい達は?  
いつでん言うこと聞かち 思うなよ 太つか波の来よとぞ  
えんやら えんやら えんやら えんやほい!  
えんやら えんやら えんやら えんやほい!

泣き笑いして歌え 泥ん酒ば飲もうで

えんやら えんやら 今夜 東海第二ば 止めに行こう

腹の底まで 我慢ば重ね 海の辛さは飲み込んで

どんだけ待ったや 満月の夜 風の止んだら「出発ぞ！」

えんやら えんやら えんやら えんやほい! えんやら えんやら えんやら えんやほい!

泣き笑いして歌え 泥ん酒ば飲もうで えんやら えんやら 今夜 東海第二ば 止めに行こう

♪海を汚すな by生田まんじ

なんちゃら機関や御用学者が 掲げる数字の嘘くささ  
魂を売っておもねるものよ 恥ずかしゅうなかとや、わいたちは  
ズタズタにされた痛みを耐えて ようやくここまで戻した漁場  
諦めた仲間の涙のぶんも 生命を懸けて守りたい  
海を殺すな 再稼働で殺すな  
海は奇跡の宝もの 今 ここだけの強欲で 生命のきずなを断ち切るな

♪君と僕の未来 byマールハート・バンド

青い空と緑の大地と青い海を守れ!!

父が採った美味しい魚を 放射能汚染から守れ

原発はいらない! いらぬ!! ふるさとを守れ 守れ!!

原発はいらない! いらぬ!! ふるさとを守れ!! 守れ!!

青い空と緑の大地と青い海を守れ

君と僕の未来守れ!! 子ども命を守れ!!

原発はいらない! いらぬ!! ふるさとを守れ 守れ!!

原発はいらない! いらぬ!! ふるさとを守れ!! 守れ!! ふるさとを守れ!! 守れ!!

みんなで  
歌うにゃん!

※下線・斜字はみんなで歌いましょう!



## 申入書

日本原子力発電株式会社  
代表取締役社長 村松 衛 殿

今日は貴社へ2つの質問をさせて頂き、そのうえで東海第二原発の再稼働工事を中止することを申し入れさせて頂きます。

1つは、貴社は先月25日、新聞折り込みで、「東海第二発電所対話型状況説明会」のお知らせの告知物を入れました。そのお知らせには、貴社の東海原子力館の他に9カ所が説明会場として記してありました。しかし私はこの告知物を見て違和感を感じました。それは会場の定員数がすべて20~30名となっていてあまりにも少ないからです。

東海第二原発周辺30キロ圏内の人口は今さら言うまでもなく約94万人です。それに対してこの9カ所合計の説明会の定員の合計は390人です。もちろん会場の定員数は決まっているのでそれほど多くの周辺30キロ圏内の住民に説明することはできないと承知していますが、それにしても少な過ぎます。それで貴社の東海原子力館以外の9カ所の会場の定員数をすべて調べてみました。

そして驚きました。すべての会場で貴社が設定した定員数はその会場の定員数を大幅に下回っているのです。ここにすべての会場の定員数と貴社が定員とするその数の差を書くには紙幅が足りませんので、貴社の東海原子力館の説明会の後に続く3つの会場の定員数と貴社が設定した定員数を記します。

常陸大宮市文化センター・小ホールの定員数：284名 貴社の設定定員数：30名

那珂市中央公民館・集会ホールの定員数：500名 " : 30名

常陸太田市パルティホール・多目的ホールの定員数：300名 " : 30名

です。この貴社の設定した定員数は会場の定員数の約1/16~1/10です。なぜこんなにも少ない人しか貴社は東海第二原発の安全対策について説明をしようとしませんか。貴社はこここのところ、コロナ対策を十分に行っているようですが仮にそれを理由とするにしても社会の常識とはかけ離れ過ぎています。一般的にコロナ対策のうえでの会場の定員設定数はその定員上限数の1/2くらいです。とてもコロナ対策が理由というだけでこの少なすぎる定員数を設定するとは思えません。

また、今年2月1日に行われた東海村議会・原子力問題調査特別委員会において、東海村商工会が出した「東海第二原発周辺自治体へ避難計画を早くつくらせる」請願が強行採決されました。しかし、この東海村商工会の理事は貴社、日本原電です。法律で、「商工会は特定の個人又は法人その他の団体の利益を目的として、その事業を行ってはならない」とされています。貴社が商工会の理事をしてその商工会が東海第二原発の再稼働のための地域自治体の避難計画を早くつくらせるための請願を出す、という行為は明らかに商工会が特定の法人、つまり貴社の利益のために事業を行っていることとなります。絶対にあってはならないことです。

以上のことから、貴社に2つの質問をさせて頂き、東海第二原発の再稼働工事を中止を強く求めます。

質問1. 上記の「東海第二発電所対話型状況説明会」の定員数があまりにも少ないのはなぜですか。また、その少なさをもって「対話型」とするならば、対話型でない説明会との違いを説明し、対話型でない説明会より住民の安全に寄与する理由を教えてください。

質問2. 貴社が東海村・商工会の理事を務め、東海村議会・原子力問題調査特別委員会において、東海第二原発周辺自治体の避難計画の早期作成を促す請願を出す、ということへの貴社の見解をお聞かせください。

回答は書面での郵送かFAX送信、メールでの送付のいずれかで7月20日(水)までお願い致します。

とめよう！東海第二原発首都圏連絡会  
〒東京都千代田区神田三崎町3-1-1 高橋セーフビル1F  
Tel.: 070-6650-5549/Fax: 03-3238-0797  
Mail: stoptokai2.shutoken@gmail.com

反原発自治体議員・市民連盟・共同代表  
佐藤英行(岩内町議会議員) 野口英一郎(鹿児島市議会議員)  
福士敬子(元東京都議会議員) 武笠紀子(元松戸市議会議員)

この間、茨城県沖と茨城県北部を震源とする地震が頻発し、地震学者からは大地震の前触れと言われています。6月1日にマグニチュード3.6、5月29日マグニチュード5.4、5月22日はマグニチュード6.0で震度5を記録しています。こうした状況下にあっても、貴社・日本原子力発電株式会社(以下原電)は、再稼働時期を2024年9月以降に延期し強行しようとしています。以下の理由から、貴社原電が東海第二原発を再稼働するのは危険であり、公益企業の倫理から、再稼働を断念し廃炉にするよう求めます。

第一に、今後基準地震動を超える地震が来ないという保証がないことです。東海第二の建設当初の基準地震動は270ガルですが、福島第一原発事故後に貴社原電が約1000ガルに引き上げて新規基準の審査が通りました。しかし、3.11で被災し交換できない箇所が残りにさらに老朽化している原発に、耐震補強工事をしたところで四倍も耐震性があがる科学的根拠はあり得ません。3.11を上回るような地震が起きた時に耐えられるとは考えられません。地震で原発が止まったとしても、冷却ができなくなれば数時間でメルトダウンする危険性があることは福島第一原発事故の教訓です。

第二に、貴社原電に、危険な原発を安全に運転できる能力や社内の規範がないことです。6月1日の原電に対する要請書において、5月24、25日の規制委員会の立ち入り調査で、敦賀原発2号機の審査資料書き換えに対する原電役員の責任と社内規定をどのように改めたのか、関係者の処分がどのように行われたのか質問したことに、回答が得られていません。その後の規制委員会でも明らかにされておらず、マスコミも報じていません。規制委員会の審査を通すために、活断層の可能性を示すデータを改ざんした不正行為に対し、反省もなく責任も取れない企業に、原子力発電所の稼働を任せることはできません。

第三に、水戸地裁判決で指摘されている避難計画の不十分性は、その後何一つ解決されていないことです。2012年の原子力災害対策指針は何度も改訂され、2014年の改定で「できるだけ住民を一斉に逃がさない」方針が変わりました。30キロ圏内は原則屋内退避となり、30キロ圏内に住む96万人の人々が事故を知っても避難できないことになりました。しかしそれが守られるとは到底考えられず、一斉避難が始まり混乱はされられません。以上の理由から、貴社原電は、敦賀原発2号機とともに東海第二原発の再稼働を断念し、廃炉に向かうことを要請します。第二の点に、貴社の回答がいただけるなら、以下の連絡先にお送りください。

反原発自治体議員・市民連盟

連絡先：東京都杉並区高井戸東 3-36-14-301 電話 090-5497-4222

メール：seiichi@keshiba-shinjo.net fax03-5936-0311